

プライマリ・ケア医のための
実習！ゼロからの筋骨格系診察シリーズ「肩」

日時：平成23年6月5日（日）10：00～15：00

講師：池尻 好聰 先生 亀田ファミリークリニック館山 場所：パールホテル茅場町

節電中とはいえ少し冷房を入れないと暑さがこたえる梅雨の晴れ間の6月5日、東京都中央区のパールホテル茅場町において亀田ファミリークリニック館山の池尻好聰先生と理学療法士の服部陽輔先生を講師に迎え、「実習！ゼロからの筋骨格系診察シリーズ『肩』」をテーマに開催しました。

実習を中心にしてポイント部分では資料を見ての講義形式でセミナーは進められ、模擬患者さんの体にエコーを当てたり模擬診察をしたりと、実践的なセミナーとなりました。

肩の模型、ポータブルエコーを使用しての実技&解説で理解力アップ

この「実習！ゼロからの筋骨格系診察シリーズ」は、整形外科の先生が学ぶような専門的な内容ではなく、基本的な知識を身につけたい方にお勧めのセミナーです。今回のセミナーの目標は「肩の診察ができるようになる」でした。

最初の『肩の解剖』では、骨や靭帯、筋肉の写真（図）だけでなく模型を使用して立体的にどうなっているのか、どの筋が骨のどこに付着しているのかから始まりました。



肩の模型を使って解説をおこなう池尻先生

続いての『肩の診察』では模擬患者役の服部先生を池尻先生が触診しての自動運動や多動運動による診察方法を解説し、その後全員が両先生を模擬患者としての診察実習をおこないました。

エコーがこれからの診断を変える！



服部先生を模擬患者にエコーの実習

午後からの『肩のエコー』では全員がエコーを当てて模擬診察をおこないました。池尻先生は「腱板を見ることができれば腱板断裂の診断はMRIより体表エコーの方が優れている。エコーは診断において強力な武器になる」と話され、エコーで腱板を見るためのコツを伝えていただきました。最後は『肩の注射の仕方』で、模型を用いて注射するポイント、投与する薬剤、注射時の注意事項などを解説していただきました。

今シリーズ第2回は9月11日（日）パールホテル茅場町で「肘」「足関節」をおこないます。

次回セミナーは6月12日、三重大学教授の竹村洋典先生により「見逃してはいけないメンタルヘルスへのプライマリ・ケア的アプローチ」と「病態生理から迫る腹痛へのプライマリ・ケア的アプローチ」を機械振興会館で開催いたします。